

オリーブの会通信

2018年8月1日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会

〒760-0043 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL 087-802-2568

<http://khj-olve.com/>



猛暑のお見舞いを申し上げます。

中国・四国を中心に甚大な被害をもたらした西日本豪雨災害の傷が癒えない中、連日酷暑の日々が続いていますが皆様くれぐれも健康管理にお努めください。

第194回月例会ご案内

日 時	2018年8月26日（日）13:30～16:30（受付：13:00～）
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 2階 第1・第2研修室 〒761-8057 高松市田村町1114番地 Tel：087-867-7686
内 容	☆第1部 13:30～ 会の諸報告 13:35～ 15:10 講演 演題 『生活困窮者自立支援制度とひきこもり支援』 講師: 香川県社会福祉協議会 増田泰代 氏 15:10～15:25 休憩 ☆第二部 15:15～16:30 グループ別話し合い
参加費	会員1家族：1,000円 会員以外：1,500円

第195回月例会ご案内

日 時	2018年9月23日（日）13：30～16：30（受付：13:00～）
場 所 <small>（間違わない てください）</small>	香川県社会福祉総合センター 7階 大会議室 〒760-8057 高松市番町1丁目10-35 Tel：087-835-3334
内 容	<p>☆一部 13:30～ 会の諸報告 13:35～ 15：10 講演</p> <p style="text-align: center;">演題 『ひきこもりに対する私たちの思いと取り組み』 講師: 総社市社会福祉協議会 事務局次長 中井俊雄 氏</p> <p>15:10～15:25 休憩</p> <p>☆第二部 15:25～16:30 グループ別話し合い</p>
参加費	無 料

◎今回お招きする講師の中井氏は平成5年より現在まで岡山県総社市の社会福祉協議会に勤務され、本年3月18日 東京で開催された KHJ本部主催の シンポジウム『“地域から”ひきこもり長期高年齢化を考える』において講演されその内容が出席者の注目を集めました。

ひきこもりの対応策として社会と広くつながることの必要性が叫ばれる中、この講演会を行政当局はもとより県内各社会福祉協議会、民生・児童委員の皆様方はじめ関係諸機関に広くご案内することに努め多数の出席者を募ることとします。

— 一月例会等の報告 —

第192回月例会（6月24日）の報告

6月の例会は通常と趣を変え研修の一環として、ひきこもり者・障害者・高齢者等が多数働いている株式会社 サニーサイド(社長：多田周平)の事業所(丸亀市綾歌町にある「ホテルレオマの森」の一角)を視察見学しました。当日の参加者は20名でした。

最初に事務所に集まり多田社長から会社の仕事の内容の説明を受けました。この会社は8年前に設立された。現在の従業員約150名の構成は、元ひきこもり者が約30名、障害者(知的・精神など)30名~40名、高齢者が約30名その他主婦等です。仕事の内容はホテルのシーツの交換、部屋の掃除で、「ホテルレオマの森」全体を請け負っています。

元ひきこもりの2名が現在は正社員となりリーダー的な立場で働いています。ある知的障害者は1時間かけて通っています。発達障害者もたくさんいます。サニーサイドの運営方針は本人ができるところから始める。できないところは他の者がカバーする。週1日からでもスタートする。本人が少しずつ成長するのを手助けする。履歴書は一応書いてもらう。

今までに多くのニート、ひきこもりを雇ってきたがほとんどの人は休まない。むしろ主婦の人たちが多く休む。

サニーサイドでは、知的障害者、ひきこもり、精神障害者などみんな一緒に働いている。高校生と障害者が一緒に働いている。これが本来の会社の在り方だと思う。

○重度の心臓病、片目が失明(高血圧)、ひきこもりであった人が当初は週1回3~4時間の仕事から始めたが現在は週4日~5日働いている。よくしゃべるようになったし、働くようになって人が変わった。働く意味・意義が分かれば働く。可能性は大きく広がる。

○もとひきこもり、現在はリーダーである。当初は週1日から。自分の希望で徐々に伸ばし仕事に自信を持ち始める。職場が自分の居場所と決め自信をつけてきた。

○中卒でひきこもり、うつ病であった。サポステからサニーサイドを紹介された。当初は体力もなく2時間足らずで廊下に座り込んでいた。まわりの者とほとんどしゃべらなかった。ただ、たばこ銭欲しさに働いていた。現在は仕事にも責任を持つようになりよくしゃべる。今はレジャー施設「レオマワールド」内の遊園地で働いている。

多田社長は言う「これからの社会は障害者と言われる人が人口の20%以上、高齢者も25%を超えている。人口の半数近くが何らかのハンデを持っていることになる。こういう人たちを排除していたら働く人が少なくなる。どんな障害を持っていてもできることはある。その可能性に挑戦していくのがこれからの企業でなければならない。自分は20年~30年先の企業・社会の在り方を今から実現していこうとしている。」

☆参加者からの感想(一部)

「楽しそうな雰囲気職場やなー」

「自分の息子の働き場はここしかない」

.....

お知らせコーナー

その1 第13回 KHJ 全国大会（KHJ 全国ひきこもり家族会連合会・実践交流研修会）が11月10日（土）・11日（日）の両日広島市で開催されます。

全国大会がこの様に近県で開催される機会は少なく、容易に出席できる絶好の機会です。是非、一人でも多くの方がご出席されるようお勧めします。

出席の締め切りは10月19日（金）となっていますが、丁度、「NHK 杯国際フィギュアスケート競技大会」が11月9日（金）～11日（日）に広島で開催されるため今でも宿泊予約が取りにくい状況です。 出席希望者は先ずホテル予約をご自分で手配して下さい。もし、宿泊予約に関連しご照会等がある場合は、会場等の情報をお知らせしますのでご一報ください。

（連絡先） 松本（080-1991-7625） 当会の現在出席予定者数：11名

その2 去る6月30日香南コミュニティセンターで開催された、『高松市香南地区（旧香南町）子ども会育成連絡協議会』による「子どもの未来は地域の未来」と題する多分野からの参加者が集う会への参加要請があり理事4名（松本、泉、丹下、武下）が出席しました。ファシリテーターを香川大学竹森元彦教授が務められましたが、ひきこもり問題に関心を持つコミュニティはじめ様々な団体・機関が日増しに多くなってきた状況を肌と感じました。

当会の出席者4名はそれぞれ別のグループに分散しひきこもりの実態や地域住民の理解と温かい支援の必要性を訴える絶好の機会を得ることができました。



その3 今年度の「ひきこもりサポーターフォローアップ研修」の開催日程は次の通りです。香川県オリーブの会会員でご希望者は、昨年同様、聴講できますので是非ご参加下さい。

（申し込み要：川井）

『第1回～第3回』

場所：香川県社会福祉総合センター 7階 第2中会議室

研修時間はいずれも13：00～16：00

○第1回目 H30年8月19日（日）

「ひきこもり支援のこれまでとこれから」

大阪・南船場PSIカウンセリングルーム代表 竹内 佑一 氏

（講演の後、グループに分かれ事例検討会等が行われます。）

○第2回目 H30年10月7日（日）

○第3回目 H31年2月10日（日）

【2018年8～9月以降の各会等の予定】

(相談窓口・傾聴サロン)

内 容	月	日	曜	時 間	担 当
ひきこもり相談窓口 (来所相談も可) ※先ずは ☎ 087-802-2567 をお待ちしております － 第5土曜日は休みです －	8	4、11、 18、25	土	10:00～16:00	泉・川井ほか
	9	1、8 15、22	土	10:00～16:00	泉・川井ほか
ひきこもり当事者傾聴サロン ※連絡先：☎ 087-802-2567 － 第1・3土曜日に行います －	8	4、18	土	13:00～16:00	サポーター登 録者・平野
	9	1、15	土	13:00～16:00	サポーター登 録者・平野

(理事会・運営委員会等)

内 容	月	日	曜	時 間	摘 要
第6回運営委員会、	8	18	土	13:30～16:30	
第7回運営委員会	9	15	土	13:30～16:30	
第8回運営委員会	10	20	土	13:30～16:30	
第9回運営委員会	11	17	土	13:30～16:30	

* ポパイの会 (居場所活動) 予定は、別途印刷の同封パンフをご活用ください

おわり